

## 予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：教育費 項：特別支援教育費 目：学校建設費

### 事業名 可茂特別支援学校施設整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 特別支援教育課 環境整備係 電話番号：058-272-1111 (内 3554)

E-mail：[c17783@pref.gifu.lg.jp](mailto:c17783@pref.gifu.lg.jp)

1 事業費 1,490,264 千円 (前年度予算額：342,368 千円)

#### <財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その 他	県 債	一 般 財 源
前年度	342,368	46,030	0	0	0	0	0	239,100	57,238
要求額	1,490,264	357,002	0	0	0	0	0	899,200	234,062
決定額	1,490,264	357,002	0	0	0	0	0	899,200	234,062

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・児童生徒180人規模を想定して整備されたが、児童生徒の増加に伴い、狭隘化への対応が喫緊の課題となっている。
- ・全校児童生徒数が262人、67学級で27教室不足している(R3.5現在)。
- ・これまで特別教室等を普通教室に転用して対応してきたが、これ以上の転用が困難な状況である。
- ・特別教室を転用しているため、各教科の授業に支障がでている。
- ・90人規模の職員室に141人が執務しており、産業医から執務環境の改善、職員休憩室の設置について指導を受けている。
- ・全校児童生徒の約7割が居住している可児市、美濃加茂市、富加町の人口は今後も減少しない見込みである。(統計課データによる)
- ・全校児童生徒の約1割が外国人児童生徒であり、増加傾向である。
- ・高等部の知的障がい生徒のうち、障がいの程度が軽度の割合が約5割であり、職業教育や就労支援体制の強化を図る必要がある。

(2) 事業内容

- ・可茂特別支援学校の狭隘化の解消を図るため校舎を増築する。

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・県立学校のため県が負担

(4) 類似事業の有無

- ・無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
工事委託料	16,042	校舎増築工事監理費 9,857、意図伝達業務費 6,185
工事請負費	1,470,269	校舎建築工事 1,439,490、既設校舎内部改修工事 30,779
手数料	3,953	校舎建築工事手数料 491、事務費 3,462
合計	1,490,264	

**決定額の考え方**

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

- |  |
|--|
| <input type="checkbox"/> 新規要求事業            |
| <input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業 |

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
可茂特別支援学校の狭隘化解消のため、令和4年度末までに校舎の増築整備を行う。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
						%
①						%
②						%

### ○指標を設定することができない場合の理由

1校の校舎整備であり、指標設置は適切でない。

### （これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎増築地造成工事設計（屋外トイレ解体工事設計含む） R2.4～R2.12</li> <li>・屋外トイレ建築設計、校舎建築設計 R2.4～R3.2</li> <li>・地盤調査 R2.7～R2.10</li> </ul>
令和3年度	<p style="color: red; text-align: center;">令和5年度当初予算にて追加</p> <hr/> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>
令和4年度	<p style="color: red; text-align: center;">令和6年度当初予算にて追加</p> <hr/> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<p>・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断）  <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 2	校舎の狭隘化は切迫した状況にあり、校舎整備の必要性は高い。
<p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか）  <small>3：期待以上の成果あり                  2：期待どおりの成果あり                  1：期待どおりの成果が得られていない                  0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	計画に沿って実施設計を実施し、工事につなげることができた。
<p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか）  <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 1	既存校舎では不足する教室を整備するものであり、効率化は図られている。

### (今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項                  狭隘化が顕著であり、計画的な施設整備により解消を図る。</p>
--

### (次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか                  計画に沿って第2東棟建築や既存校舎改修を実施する。</p>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	